

衆議院北朝鮮による拉致問題等に関する 特別委員会ニュース

H26.5.9 第186回国会第3号

5月9日（金）、第3回の委員会が開かれました。

1 北朝鮮による拉致問題等に関する件

- ・北朝鮮による拉致問題等に関する実情調査のため、新潟県において視察を行った委員を代表して、山本委員長から報告を聴取しました。
- ・岸田外務大臣、古屋国務大臣（拉致問題担当・国家公安委員会委員長）、加藤内閣官房副長官、藤川総務大臣政務官、政府参考人及び最高裁判所当局に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

細田 健一君（自民）

- ・安倍内閣の拉致問題の解決に向けた意気込み及び基本方針について、古屋国務大臣に伺いたい。
- ・日朝非公式協議で再調査の実施を要求する場合は必ず日本側が再調査の結果について検証を行う仕組みが必要だと考えるが、政府の見解を伺いたい。
- ・特に拉致の疑いが濃厚な特定失踪者の家族に対して、政府は情報提供及び意見聴取をどのように行っているのか。また、この点について、古屋国務大臣の見解を伺いたい。

上田 勇君（公明）

- ・日朝政府間協議（3月30日～31日）の現状及び日朝交渉の今後の見通しについて、政府に伺いたい。
- ・拉致被害者等への今後の支援の在り方について、古屋国務大臣の見解を伺いたい。
- ・在日朝鮮人の帰還事業で北朝鮮に渡った日本人渡航者の全容把握の必要性及び帰国に対する支援について、政府の見解を伺いたい。

鷲尾 英一郎君（民主）

- ・特定失踪者の捜査状況についてと特定失踪者の捜査の中で、一般的に拉致の可能性に濃淡があるのか、古屋国務大臣に伺いたい。
- ・我が国が経済制裁を行っている中で、地下経済を含めて北朝鮮と中国の経済関係を把握する必要性について、岸田外務大臣の見解を伺いたい。

- ・日朝間の墓参の状況はどうなっているのか。また、遺骨問題について、日朝赤十字会談で北朝鮮からどのような働きかけがあり、我が国としてはそれをどのように受け止めているのか。

三宅 博君（維新）

- ・朝鮮総連のテレビ局に対する圧力により4人の有識者がテレビ出演を阻まれているとの週刊誌の報道について、政府の認識を伺いたい。
- ・朝鮮総連本部ビルの売却に関して、政府が購入してでも解決すべきであり、この問題が解決しなければ拉致も何も全部終わりである旨の飯島内閣官房参与の発言は内閣の意向を受けたものなのか。
- ・山本美保さんの失踪事件について、手違いの可能性も踏まえ、DNA鑑定の結果を見直すつもりはあるか。

中島 克仁君（みんな）

- ・北朝鮮が拉致に対する再調査を行う見返りに日本が北朝鮮に対する制裁の一部を緩和することを検討しているとの報道の事実関係について伺いたい。
- ・北朝鮮により拉致被害を受けている国及び人数並びにこれらの国との連携の在り方について伺いたい。
- ・拉致問題対策本部の予算が足りているか、古屋国務大臣の見解を伺いたい。

青柳 陽一郎君（結い）

- ・拉致問題啓発演劇公演舞台劇「めぐみへの誓い―奪還―」

に対して拉致問題対策本部として今後どのように支援していくのか、古屋国務大臣に伺いたい。

- ・北朝鮮の人権に関する国連調査委員会の報告書と国連人権理事会における北朝鮮の人権状況決議に対するフォローアップの在り方について、古屋国務大臣の見解を伺いたい。
- ・拉致問題に関しては「特定秘密の保護に関する法律」により特定秘密に指定されることについて、古屋国務大臣の見解を伺いたい。

笠井 亮君（共産）

- ・日朝政府間協議（3月30日～31日）において、日本側がどのような基本的立場に立って拉致問題に関する問題提起を行ったのか伺いたい。
- ・4回目の核実験を示唆したものとされる「新たな形態の核実験も排除しない」とした北朝鮮の外務省声明（3月30日）に対し日本政府は遺憾の意を表明し、北朝鮮側に対し自制を求めたが、その際の北朝鮮側の対応はどのようなものであったか伺いたい。
- ・拉致被害者等への今後の支援策の在り方に関して、今後の検討スケジュールについて伺いたい。